

【表の見方】

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、自己アピール文の提出のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。

評価方法	割合
学力検査の成績を重視	15%
個人調査書等を重視	15%
個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に見る	70%

定員

普通科以外の
の学科につ
いては、道内
全域です。

学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。

(例) 数・理・英(1.5)

数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各150点満点となります。

実施する内容に○を記入してあります。
「過年度卒」の○は、過年度卒業者の
みを対象とした面接の実施を表してい
ます。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。

個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって重視する項目に○を記入してあります。「総合所見等」とは「総合所見及び指導上参考となる諸事項」を表しています。

選抜に当たって、面接や実技などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

【一覽表】

学区	学校名	学科名	推 薦 入 試					一 般 入 試										
			入学枠 (%程度)	面接以外に実施する項目				学力検査等の実施					複数尺度による選抜で重視する項目					
				英語の聞き取りテスト	英語による問答	実技	作文	自己アピールの提出	学力検査の傾斜配点	実技	面接		学力検査の成績を重視の年度	個人調査書等を重視				
											全員	過年度		学力検査の成績を重視	個人調査書	実技等		
																	個人	集团
上川南	旭 川 永 嶺	普 通	20					○					○	9：1	6：4			

学区	学校名	学科名	入学枠（％程度）	推薦の要件（志望してほしい生徒像）
上川南	旭 川 永 嶺	普 通	20%	単位制高校の特色を理解し、次のいずれかに該当する生徒 １ 学業人物に優れ、大学進学等、進路目標に向けて意欲的に取り組む生徒 ２ スポーツや芸術等の分野で活躍し、入学後も継続して学習との両立を図る生徒